

# 2013年12月期 第2四半期 決算補足資料

(株)ポーラ・オルビスホールディングス  
代表取締役社長  
**鈴木 郷史**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの状況および重点戦略の進捗
3. 生産体制再編の影響について
4. 2013年12月期業績見通し
5. 下期以降の取組み

1. **連結業績ハイライト**
2. セグメントの状況および重点戦略の進捗
3. 生産体制再編の影響について
4. 2013年12月期業績見通し
5. 下期以降の取組み

連結売上高は、円安の影響により計画を上回って着地。  
営業利益は、基幹ブランドを中心とした販管費の効率化が進み計画を超過。

## 上期連結

売上高 91,415百万円(前期比+5.8%) 営業利益 6,305百万円(+11.6%)

## POLA

売上高 48,888百万円(前期比+1.7%) 営業利益 3,417百万円(+3.8%)

- ・ポーラ ザ ビューティ(PB)が引続き成長を牽引
- ・ホワイトニング、季節性商品が好調に推移

## ORBIS

売上高 23,647百万円(前期比  $\Delta$ 0.0%) 営業利益 4,278百万円(+11.9%)

- ・購入単価の上昇や販管費の効率化などブランド再構築の取組みが順調に推移

## 海外ブランド

Jurlique  
h2o+

売上高 8,709百万円(前期比+72.0%) 営業利益  $\Delta$ 1,240百万円

- ・売上は外貨ベースで計画通り。日本円ベースでは円安による影響で上ブレ
- ・営業利益は外貨ベースで概ね想定通り着地するも、為替影響分が下ブレ

# 連結業績ハイライト

(単位:百万円)	2012年 上期実績	2013年 上期実績	前期比		計画比	
			増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	86,407	91,415	5,008	5.8%	1,415	1.6%
売上原価	17,744	18,281	536	3.0%	681	3.9%
売上総利益	68,662	73,134	4,472	6.5%	734	1.0%
販管費	63,010	66,829	3,818	6.1%	329	0.5%
営業利益	5,652	6,305	653	11.6%	405	6.9%
経常利益	6,008	7,335	1,326	22.1%	1,235	20.2%
税前三半期純利益	6,030	5,567	△462	△7.7%	△382	△6.4%
四半期純利益	2,785	3,402	617	22.2%	602	21.5%

## 連結業績 概況

- ・ 売上高は、円安による影響もあり計画超過
- ・ 営業利益は、基幹ブランドの販管費の効率化や費用の執行期ズレ等のため計画より上ブレ
- ・ 四半期純利益は為替による営業外収益増や、1Q発表のポーラUSA事業撤退に伴う税金費用の減少により大幅超過

# 連結PL増減分析（売上～営業利益）

(単位:百万円)	2012年	2013年	前期比		計画比	
	上期実績	上期実績	増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	86,407	91,415	5,008	5.8%	1,415	1.6%
売上原価	17,744	18,281	536	3.0%	681	3.9%
売上総利益	68,662	73,134	4,472	6.5%	734	1.0%
販管費	63,010	66,829	3,818	6.1%	329	0.5%
営業利益	5,652	6,305	653	11.6%	405	6.9%

## 連結売上高

- ・ 国内ブランド ⇒ 前期比 +998百万円
- ・ 海外ブランド ⇒ +3,646百万円

## 売上原価

- ・ 原価率2012年2Q 20.54% ⇒ 2013年2Q 20.00%
- ・ ジュリーク買収に伴う一時費用の解消により、原価率が改善  
(2012年2Q:ジュリーク社買収に伴う棚卸資産評価差額 733百万円計上)

## 販管費

- 主要因: 海外ブランドの積極的な事業拡大に伴う販管費増
- ・ 人件費 ⇒ 前期比 +1,156百万円
  - ・ 販売手数料 ⇒ +728百万円
  - ・ 販売関連費 ⇒ +843百万円
  - ・ 管理費他 ⇒ +1,090百万円

## 営業利益

- ・ 前期比 +653百万円 (うちビューティケア事業+816百万円)

# 連結PL増減分析（営業利益～四半期純利益）

(単位:百万円)	2012年 上期実績	2013年 上期実績	前期比		計画比	
			増減	率(%)	増減	率(%)
営業利益	5,652	6,305	653	11.6%	405	6.9%
営業外収益	431	1,080	649	150.5%	780	260.2%
営業外費用	75	50	△24	△32.5%	△49	△49.1%
経常利益	6,008	7,335	1,326	22.1%	1,235	20.2%
特別利益	121	214	93	76.4%	214	-
特別損失	99	1,982	1,882	1,894.9%	1,832	1,221.5%
税前四半期利益	6,030	5,567	△462	△7.7%	△382	△6.4%
法人税等	3,254	2,200	△1,054	△32.4%	△949	△30.1%
少数株主損失	△9	△35	△25	-	△35	-
四半期純利益	2,785	3,402	617	22.2%	602	21.5%

## 営業外収益・費用

・ 為替による収益増 前期比 +657百万円(前期:68百万円⇒当期:726百万円)

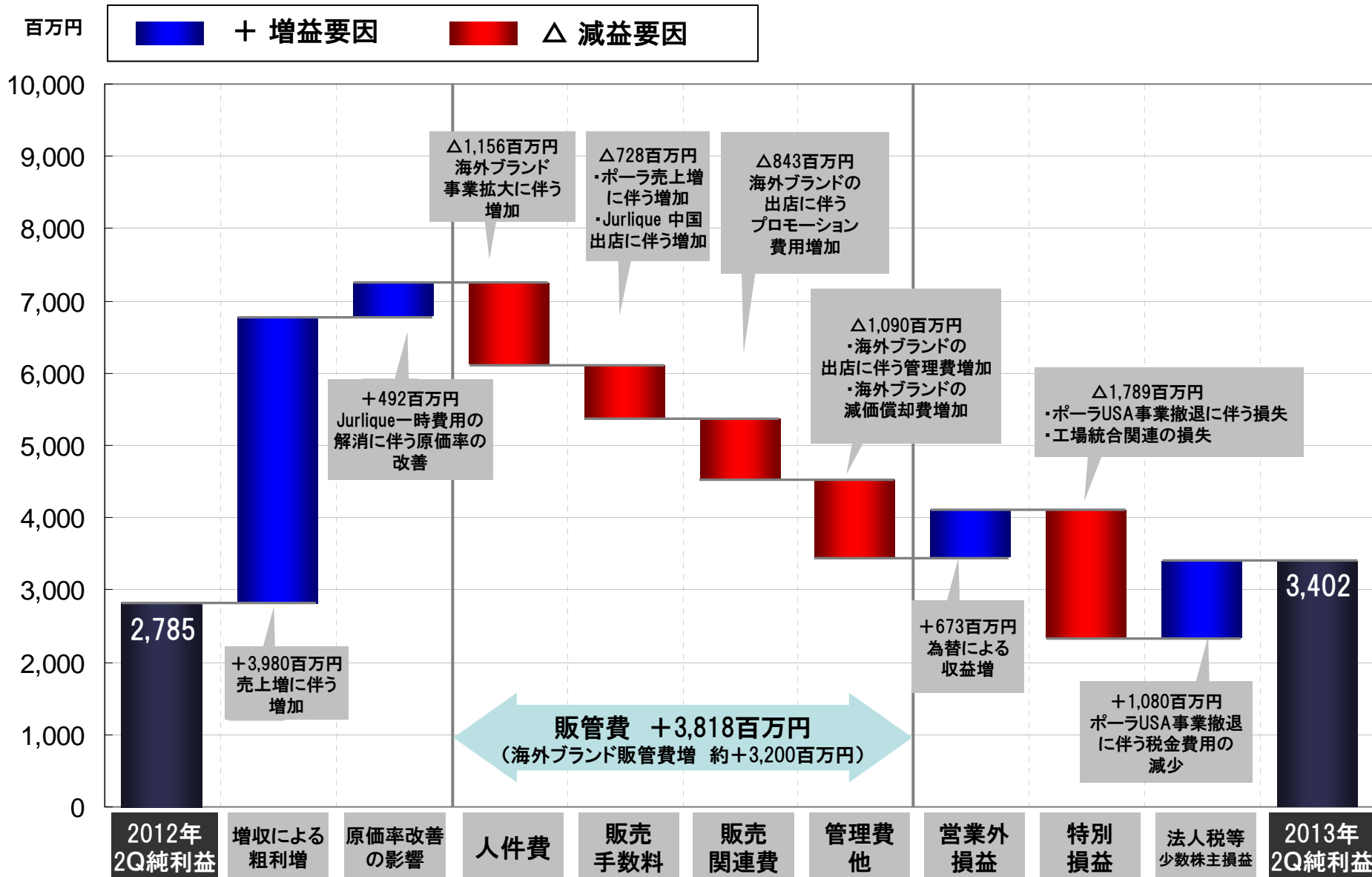
## 特別利益・損失

【特別利益】	遊休資産の売却益	211百万円
【特別損失】	工場統合関連特別損失	848百万円
	ポーラUSA事業撤退に伴う事業整理損	1,000百万円

## 法人税等

・ ポーラUSA事業撤退に伴う税金費用の減少 前期比 △1,186百万円

# 四半期純利益増減要因





1. 連結業績ハイライト
2. **セグメントの状況および重点戦略の進捗**
3. 生産体制再編の影響について
4. 2013年12月期業績見通し
5. 下期以降の取組み

# セグメント別実績

(単位:百万円)	2012年 上期実績	2013年 上期実績	前期比		計画比	
			増減	率(%)	増減	率(%)
<b>連結売上高</b>	86,407	91,415	5,008	5.8%	1,415	1.6%
ビューティケア事業	80,691	85,336	4,644	5.8%	1,236	1.5%
不動産事業	1,444	1,493	49	3.4%	93	6.7%
その他	4,271	4,586	314	7.4%	86	1.9%
<b>営業利益</b>	5,652	6,305	653	11.6%	405	6.9%
ビューティケア事業	4,887	5,703	816	16.7%	103	1.9%
不動産事業	627	645	17	2.8%	45	7.6%
その他	△12	98	110	-	98	-
全社・消去	149	△142	△291	-	157	-

# ビューティケア事業実績【商材別】

(単位:百万円)	2012年 上期実績	2013年 上期実績	前期比	
			増減	率(%)
売上高	80,691	85,336	4,644	5.8%
化粧品	74,645	79,468	4,822	6.5%
ファッション	6,046	5,867	△178	△3.0%
営業利益	4,887	5,703	816	16.7%
化粧品	5,028	5,788	760	15.1%
ファッション	△140	△84	55	-

◆化粧品 ⇒ 基幹ブランドが引続き堅調に推移したことに加え、海外ブランドが売上に大幅貢献

◆ファッション ⇒ 減収となるも、コスト構造は着実に良化し赤字幅が縮小

\* 参考値として商材別に実績を表示。(非監査情報)

# ビューティケア事業実績【ブランド別】

(単位:百万円)	2012年 上期実績	2013年 上期実績	前期比	
			増減	率(%)
<b>売上高</b>	80,691	85,336	4,644	5.8%
ポーラブランド	48,069	48,888	819	1.7%
オルビスブランド	23,655	23,647	△7	△0.0%
育成ブランド	3,903	4,090	186	4.8%
海外ブランド(Jurlique・H2O+)	5,063	8,709	3,646	72.0%
<b>営業利益</b>	4,887	5,703	816	16.7%
ポーラブランド	3,293	3,417	123	3.8%
オルビスブランド	3,825	4,278	453	11.9%
育成ブランド	△753	△751	1	-
海外ブランド(Jurlique・H2O+)	△1,477	△1,240	237	-

- ◆ポーラブランド ⇒ 引続きPBが成長ドライバー。「ホワイトショット」シリーズ、「B.A ザ デイマスクS」が好調
- ◆オルビスブランド ⇒ ブランド再構築の取組みにより収益性が向上し、2桁増益
- ◆育成ブランド ⇒ 伸張するも、一部ブランドが苦戦し想定より弱含み
- ◆海外ブランド ⇒ 外貨ベースで想定通り進捗。ジュリーク・H2O PLUSともに中国での売上が好調

外貨ベース  
 前期比 約+45%  
 Jurlique '12年 2~6月  
 H2O+ '12年1~6月  
 前期比 約+25%  
 Jurlique '12年 1~6月  
 H2O+ '12年1~6月

\* 参考値としてブランド別に連結決算ベースの営業損益を表示。(非監査情報)

(単位:百万円)	2012年 上期実績	2013年 上期実績	前期比	
			増減	率(%)
不動産事業売上	1,444	1,493	49	3.4%
営業利益	627	645	17	2.8%

◆賃料維持やテナント誘致に向けた営業活動により、売上高・営業利益ともに前年超過

(単位:百万円)	2012年 上期実績	2013年 上期実績	前期比	
			増減	率(%)
その他売上	4,271	4,586	314	7.4%
営業利益	△12	98	110	-

◆医薬品 ⇒ ルリコンの販売が引続き好調に推移

◆ビルメンテナンス ⇒ 一部工事の前倒し受注等があり、売上が前年を大幅超過

## 戦略1 — 基幹ブランドの安定収益確保



商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆5月発売の夏用マスク「B.A ザ デイマスクS」が好調</li> <li>◆キャンペーンが奏功し「ホワイトショット」シリーズが伸張</li> </ul>
チャネル	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆PB店舗数 前期末+12店 合計584店</li> <li>◆PB化粧品売上 前期比+7.3% (既存店 前期比+7.2%) 参考:エステイン +1.1% 従来型訪販 △8.6%</li> </ul>
顧客	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆購入単価 前期比 △0.6%</li> <li>◆新規顧客数 前期比 △0.1%</li> </ul>



5月発売 ポーラ  
「B.A ザ デイマスクS」



商品	◆5月 「サンスクリーンスーパー」(UVケア製品)発売
チャネル	◆ネット注文比率 前期比+0.6pt
顧客	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆購入単価 前期比+3.0%</li> <li>◆通販スキンケア購入者比率 前期比△1.5pt</li> </ul>
物流	◆物流東西2拠点体制によるサービス向上と費用効率化が進捗



5月末発売 オルビス  
「サンスクリーンスーパー」

## 戦略2 — 育成ブランドの成長加速

THREE

- ◆2013年春夏VoCE Beauty Awardsにて多数、部門1位を受賞
- ◆国内 前期末比 +2店舗 海外 +2店舗(タイ)



THREE タイ店舗オープニング

## 戦略3 — 強みを活かした海外展開

海外ブランド

- ◆ジュリーク ⇒ 中国百貨店カウンター数 80店 (前期末+11店)
- ◆H2O PLUS ⇒ 中国での成長拡大を目指し中国の代理店とJV設立 (C2O Plus Asia Limited)

既存ブランド

- ◆ポーラ ⇒ ロシアでの取扱店数が引続き順調に拡大し、売上伸張  
中国での訪販ライセンスは認可待ち
- ◆オルビス ⇒ アセアン展開に向け体制整備
- ◆THREE ⇒ 海外展開の1st ステップとしてタイに出店



Jurlique  
4月発売 「Purely White」

## 戦略4 — 研究開発力強化

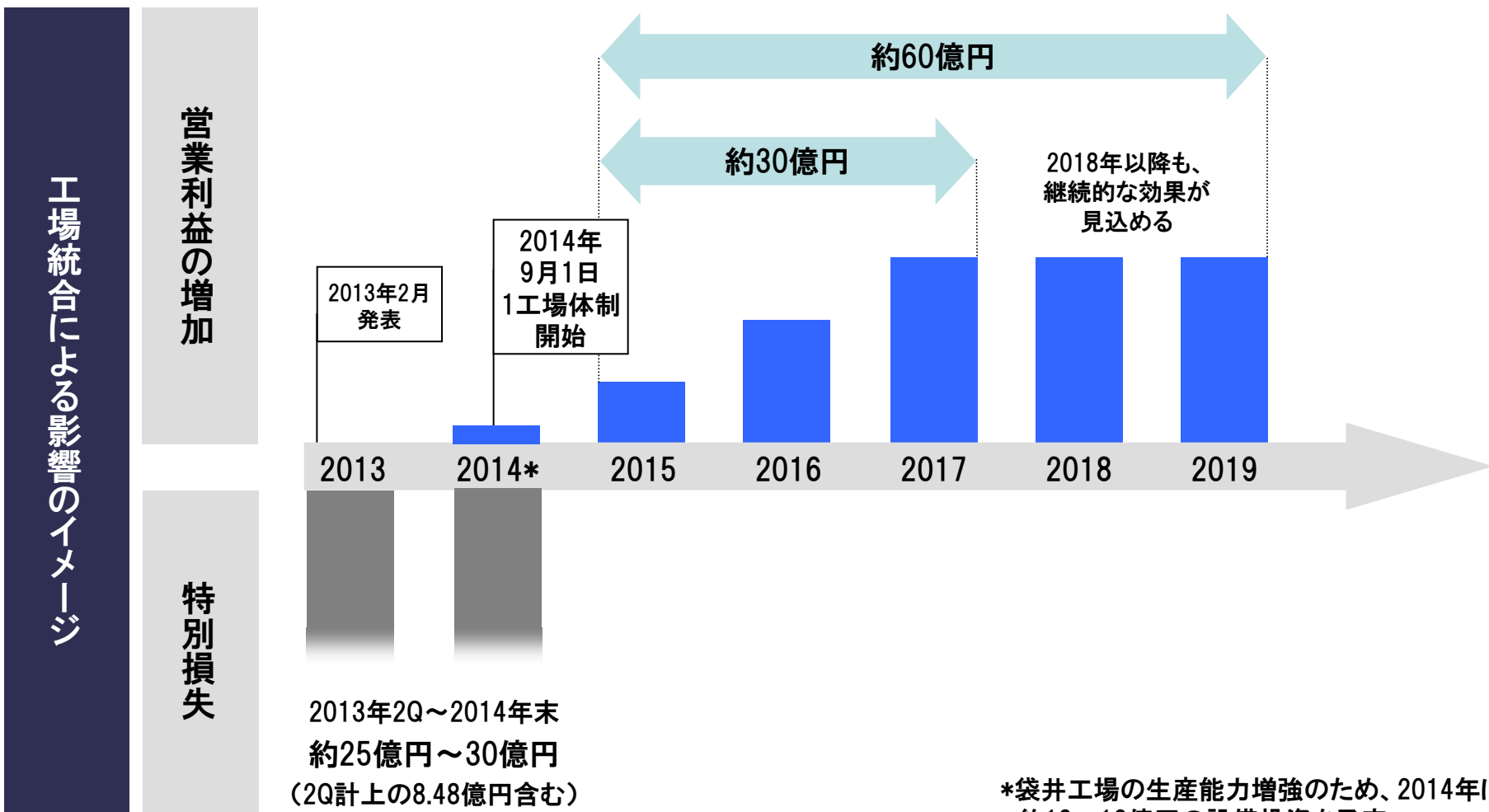
ポーラ化成

- ◆2014年発売予定の海外ブランド新製品開発が順調に進捗

1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの状況および重点戦略の進捗
3. **生産体制再編の影響について**
4. 2013年12月期業績見通し
5. 下期以降の取組み



当社が得意とするスキンケア・ベースメイク品に生産資源を集中。  
外注活用も含めたコストダウン、効率化を目指す。



1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの状況および重点戦略の進捗
3. 生産体制再編の影響について
4. **2013年12月期業績見通し**
5. 下期以降の取組み

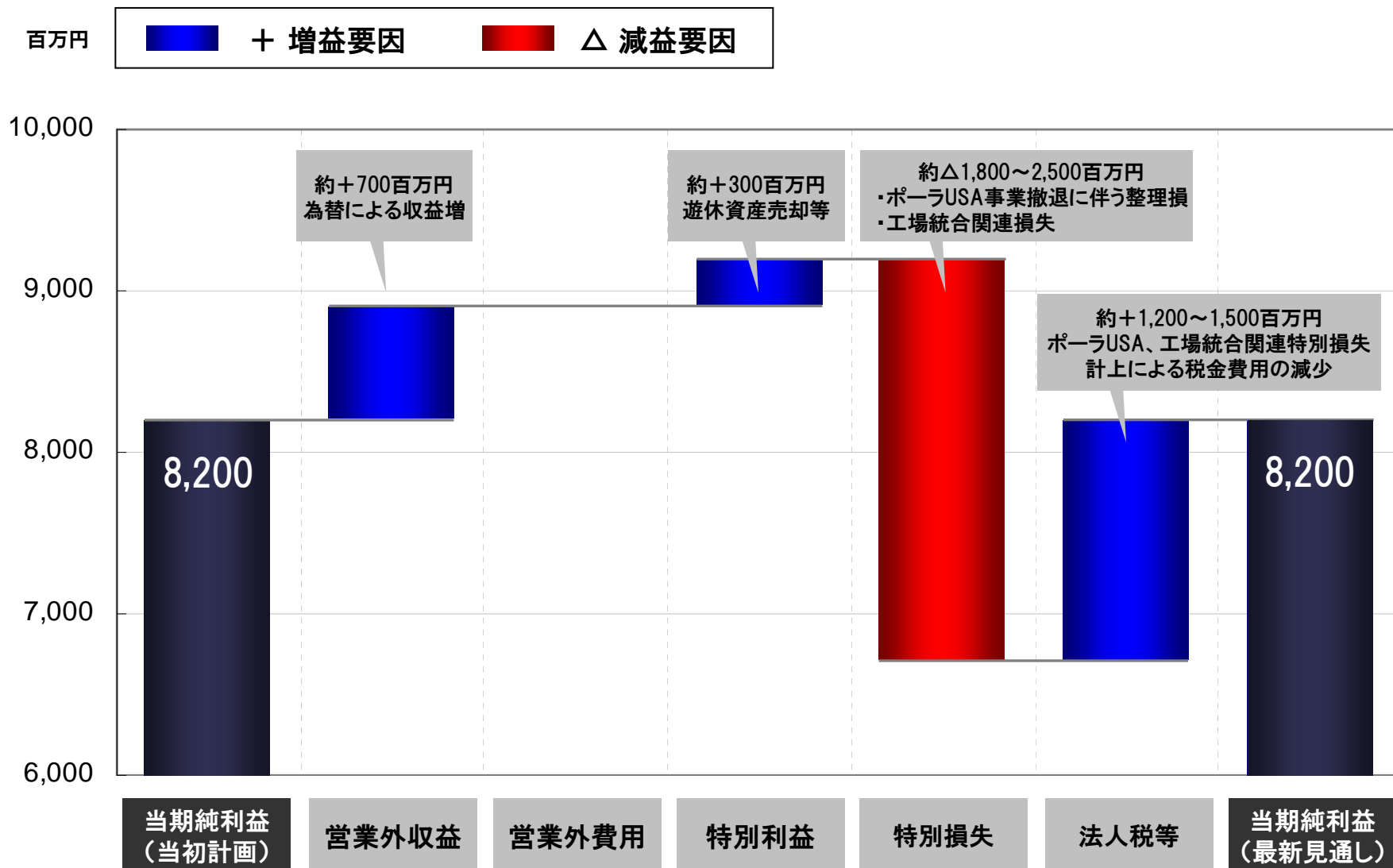
# 2013年12月期業績見通し(変更なし)

生産体制再編の影響を考慮しても、当初計画の変更はなし。

(単位:百万円)	2013年 通期計画	前期比	
		増減	率(%)
連結売上高	188,500	7,626	4.2%
ビューティケア事業	175,800	6,988	4.1%
不動産事業	3,000	158	5.6%
その他	9,700	479	5.2%
営業利益	16,000	2,479	18.3%
ビューティケア事業	15,000	3,187	27.0%
不動産事業	1,200	60	5.3%
その他	300	△35	△10.5%
全社・消去	△500	△732	—
経常利益	16,300	1,695	11.6%
当期純利益	8,200	1,518	22.7%

2013年 上期実績	前期比	
	増減	率(%)
91,415	5,008	5.8%
85,336	4,644	5.8%
1,493	49	3.4%
4,586	314	7.4%
6,305	653	11.6%
5,703	816	16.7%
645	17	2.8%
98	110	—
△142	△291	—
7,335	1,326	22.1%
3,402	617	22.2%

# 当期純利益(通期見通し) 当初計画からの変動要因

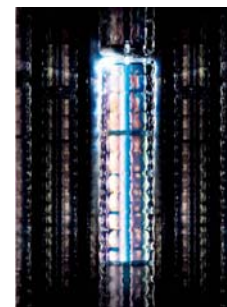


1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの状況および重点戦略の進捗
3. 生産体制再編の影響について
4. 2013年12月期業績見通し
5. **下期以降の取組み**

## 基幹ブランドの安定収益確保

POLA

- ◆B.Aシリーズ最高峰の美容液「B.A グランラグゼ II」を投入
- ◆プラス1品の購入促進を行い、購入単価の向上を目指す



9月発売予定 ポーラ  
「B.A グランラグゼ II」

ORBIS

- ◆高付加価値スキンケア品の投入により、購入単価の増加を目指す
- ◆10月に基幹システムの刷新を予定



11月発売予定 オルビス  
「エクセレントエンリッチ クリーム」

## 育成ブランドの成長加速

THREE

- ◆7月 ヘアケアライン「スカルプ & ヘア」発売
- ◆リピート顧客獲得、購入単価向上のため販売員教育を強化

## 海外展開の加速

Jurlique

◆中国で100店舗体制に向け、出店投資

h2o+

◆中国での新体制の下、引続き中国での展開を強化  
◆ロシアの取扱店数を拡大

POLA

◆ロシアの取扱店数を引続き拡大

ORBIS

◆アセアン展開の基点としてシンガポールに現地法人設立



9月発売予定 Jurlique  
「Herbal Recovery Advanced Serum」

海外ブランド2社との流通シナジーを活用し、既存ブランドの海外展開を積極的に推進

THREE

◆新オープンしたタイ店舗を基点に海外展開を開始  
◆海外ブランドのノウハウ、ネットワークを活かし、グローバルに通用するブランドへ育成



10月発売予定 H2O+  
「totalSource Optimum Cleanser & Optimum Toner」

## 生産体制再編

ポーラ化成

◆2014年秋以降の工場統合に向け体制整備

# 長期ビジョン達成に向けて

2011～2013年  
中期経営計画は  
概ね順調に進捗。

海外売上比率は  
2桁台まで拡大。

次期中期経営計画を  
2013年12月期  
決算説明会にて  
発表予定。

## 長期ビジョン 経営指標

売上規模 2,500億円以上  
海外比率 20%以上  
営業利益率 業界トップレベル(13～15%)

